

第三十三號

明治三十二年十月

上海福州線及上海杭州線兩航路實業航海
關東大東汽船會社命令書送信省送付

外務省

3-2060

0256

大

營業第五一八號

主管理局

第三二四〇

本會書法部探部三訂
了請本上海郵政局長
下

上海蘇州線及上海杭州線
兩航路定期航海開辦大
東通命合資會社別冊寫
之通命合資會社別冊寫
此段及古通通知候也

明治三十二年九月二十七日

逋信省管轄局長佐藤秀顯



外務省
通商局長重岡寛五郎殿

辨 年十月七日 記録課受

遞 信 省

進テ該航路開始ノ期日ハ來ル
十月一日ニ延期相成テ係テ
申進也

上海
蕪州
杭州
線

命
令
書

3-2060

0258

命令書

大東汽船合資會社

第一條 其會社ハ明治三十一年九月一日ヨリ同三十六

年六月三十日ニ至ル四箇年十月月間郵便物及旅客貨

物運搬ノ為メ本命令書ニ定ムル航行ニ従事スヘシ

第二條 其會社ノ従事スヘキ航路ハ左ノ如シ

一 上海蕪州線 本線ニ於テハ上海蕪州間ヲ航行ス

ヘシ

二 上海杭州線 本線ニ於テハ上海杭州間ヲ航行ス

ヘシ但嘉善嘉興ニ停船スルコトヲ得

第三條 第二條ニ記載スル各線路ニ使用スル船舶並ニ

航行度數ハ左ノ如シ

一 上海蕪州線 本線ニハ航行度數八噸以上平均速力

一時間五海里以上ノ引船用汽船三艘及総噸數拾

五噸以上ノ被身船用船舶三艘ヲ用テ毎月二十五

回以上上海蕪州雙方ヲ航行セシムヘシ

二 上海杭州線 本線ニハ航行度數八噸以上平均速力

一時間五海里以上ノ引船用汽船四艘及総噸數拾

五噸以上ノ被身船用船舶三艘ヲ用テ毎月十回以

上上海杭州雙方ヲ航行セシムヘシ但本線ハ通信

大臣ノ認可ヲ受テ開始後一箇月間ハ其設備船數

ヲ減シ航行度數ヲ四回ニテ減スルコトヲ得此

場合ニハ減少ノ度數ニ應シテ二十五條第二項ノ

割合ニ依リ補助金額ヲ減スルモノトス

前二項ノ汽船ニ付テハ航行度數七噸ヲ降ルコトヲ得

ス

第四條 其会社ハ茅三條ノ船舶ヲ定メ豫メ逓信大臣ノ
 認可ヲ受クヘシ其之ヲ変更セントスル場合亦同シ
 前項ノ船舶ハ其会社ノ所有ニ專屬シ本命令書實施ノ
 日ニ於ケル船舶五年未滿ニシテ検査官吏ノ検査ニ合
 格シタル船舶ニ限ル
 逓信大臣ハ検査官吏ヲシテ隨時茅一項ノ船舶ヲ検査
 セシメ其状況ニ依リ修繕ヲ命ジ若クハ認可ヲ取消ス
 コトアルヘシ此場合ニ於テハ其会社ハ逓信大臣ノ指
 定スル期間内ニ於テ修繕ヲ加ヘ若クハ逓信大臣ノ認
 可ヲ受ケ相當代船ヲ以テ之ヲ補充スヘシ
 其会社ニ於テ茅一項ノ船舶ヲ喪失若クハ破損シ又ハ
 該船舶ニ修繕ヲ要スルトキ亦同シ
 第五條 其会社ハ本命令書ニ規定スル業務ヲ實施スル

前十四日ニ於テ各線路ニ於ケル發着日時表ヲ調製シ
 テ逓信大臣ノ認可ヲ受クヘシ但し其変更ヲ為サントス
 ルトキハ少クモ二週日前ニ届出逓信大臣ノ認可ヲ受
 クヘシ
 逓信大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ前項ノ發着日
 時表ヲ変更セシムルコトアルヘシ
 第六條 其会社ハ茅三條ノ船舶ヲ以テ運搬スル旅客貨
 物ニ對シ徴収スル運賃表ヲ調製シ豫メ逓信大臣ニ届
 出ヘシ其之ヲ変更セントスル場合亦同シ
 逓信大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ時限並ニ品名
 ヲ指定シテ前項ノ運賃定額ヲ依減セシムルコトアル
 ヘシ
 第七條 茅三條ノ船舶茅二條ノ線路ニ於ケル各港ニ到



着シタルトキハ帝國領事館ニ届出捺着証明ヲ受ク

第八條 第三條ノ船舶ニハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケタル

航海日誌ヲ備ヘ船長ヲシテ必要ノ事項ヲ記載セシメ

一箇月毎ニ其要領ヲ記シ第七條ノ捺着証明書ヲ添ヘ

逓信大臣ニ差出し其檢閲ヲ受クヘシ

第九條 其会社ハ第三條ノ船舶ヲ以テ逓信大臣ノ規定

スル手續ニ依リ第二條ノ各線路ニ於ケル郵便物ヲ運

賃ニテ逓送スヘシ

前條ニ於テ郵便物ト称スルハ郵便条例ハ郵便法郵便

便条例其他將來發布ニ係ル法律命令ニ依リ郵便物ト

シテ取扱フモノ及其運搬ニ要スル諸器具ヲ謂フ以下

郵便物ト称スル亦同シ

第十條 逓信大臣ハ第三條ノ船舶ニ郵便吏員ヲ乗船セ

シタルコトアルヘシ

前項ノ郵便吏員ニハ無償ニテ相當ノ食料ヲ供スヘシ

其待遇ハ上等船客ニ準ズヘシ

第十一條 第三條ノ船舶ニ積載スル郵便物ハ溢難濕氣

火災其他一切損害ノ虞ナキ安全ナル場所ヲ擇ビ且損

害ノ發防上適當ノ装置ヲ施シ藏置スヘシ

前項ニ要スル費用ハ總テ其会社ノ負擔トス

第十二條 總テ逓送ヲ命セラルタル郵便物ハ郵便吏員

乗船スルトキハ該吏員乗船セサルトキハ本船ノ船長

若シハ事務員之ヲ取扱フ為スヘシ

第十三條 其会社ハ逓信大臣ノ逓送ヲ命シタルモノ

外他ノ信書ヲ逓送スヘカラス

第十四條 郵便物ノ運送並ニ各寄港地ニ於ケル郵便物

船積陸揚ニ関スル費用ハ其會社ノ負擔トス

第十五條 其會社ハ運送中ナルト船積又ハ陸揚中ナル

トヲ問ハズ郵便物ヲ紛失毀損セシメタルトキハ其責

ニ任スヘシ

前項ノ損害ハ郵便吏員乗船ノ場合ト魚ノ天災又ハ該

吏員ノ過失ニ出テタル場合ノ外総テ其會社ノ責任ト

第十六條 其會社ハ第三條ノ各線路ニ於ケル支店若ク

ハ代理店ニ郵便ヲ備、郵便物陸揚船積ノ用ニ使ス、

第十七條 第三條ノ汽船航行中遭難其他ノ事故ニ依リ

郵便物ヲ運送スル能ハサルトキハ適當ノ方法ニ依リ

會社ノ費用ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

第十八條 其會社ニ於テ郵便物運送ノ命令ニ違背シ運

信大臣他ノ船舶ヲ以テ該郵便物ヲ運送セシメタルニ

因リ生シタル費用ハ其會社ノ負擔トス

第十九條 第三條ノ汽船ハ常ニ帝國ノ旗及郵便旗章ヲ

掲揚スヘシ

第二十條 其會社ハ第二條ノ線路ニ於ケル寄港地ニ支

店又ハ代理店ヲ設置スヘシ

前項ノ支店ニ使用スル事務員及各船舶ノ船長機関士

及事務員ハ通信大臣ノ認可ヲ得ルニテアサレハ外國

人ヲ使用スヘカラス但火亡其他止ラ得サル事故ニ依

リ本項ノ船舶乗組員ニ欠員ヲ生シタルトキハ該地

國領事館ノ公認ヲ經テ外國人ヲ以テ之ヲ補フコトヲ

得此場合ニ於テハ直ニ逓信大臣ノ追認ヲ請フヘシ
第一項ニ掲クル代理店ヲ設ケントスルトキハ其店名
所在地名及該店業務担当者ノ國籍並ニ氏名ヲ逓信大
臣ニ具申シ認可ヲ受ク、シ変更ノ場合亦同シ
逓信大臣ハ支店ノ事務員及各船舶ノ船長機長士事務
員ニシテ事務取扱上急慢懈怠其他ノ失行アリト認め
ルトキハ其交代ヲ命スルコトアルヘシ
逓信大臣ハ代理店ノ業務担当者前項ニ該當スル所為
アリト認めルトキハ代理店ノ変更ヲ命スルコトアル
ヘシ

第二十一條 第三條ノ船舶ハ旅客積卸ノ為ノ必要ナル
トキハ發着日時表ニ掲ケタル停船地ノ外他ノ場所ニ
停船スルコトヲ得但發着日時表ニ掲ケル日時ヲ變更
スルコトヲ得ス

第二十二條 逓信大臣ハ本命令書有効期限内中公益上必
要ト認めルトキハ相當ノ使用料ヲ補償シテ第三條ノ
船舶ヲ使用スルコトアルヘシ其会社ニ於テ逓信大臣
ノ發スル使用ノ命令ニ應セズ他ノ方法ヲ以テ公用ヲ
便シタルニ因テ生スル費用及損害ハ其会社之ヲ補償
スヘシ

船舶使用ノ場合ニ於テ逓信大臣ハ実費ヲ支給シテ船
内ノ構造ヲ變更セシムルコトアルヘシ
前項ノ使用ニ依リ損害ヲ生シタルトキハ逓信大臣其
事由ヲ查覈シテ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但該会社又
ハ乗組員ノ過失ニ出テタルモノハ此限ニアラス
第二十三條 第三條ノ各船舶ニハ逓信大臣ノ定ムル法

式ニ依リ調製シ其檢印ヲ受ケタル申告簿ヲ備フヘシ
 申告簿ハ船長之ヲ保管シ乗客ノ請ボアルトキハ何時
 ニテモ之ヲ提出スヘシ
 船中見易キ所ニ申告簿保管者ノ姓名ヲ記載シ該客ノ
 請求ニ應ジ之ヲ提出スル旨ヲ揭示スヘシ
 申告簿ハ三箇月毎ニ當該官吏ノ検閲ヲ受クヘシ
 第二十四條 逋信大臣ハ當該官吏ヲ派遣シ第一條ノ各
 線路ニ於ケル業務ヲ視察セシムルコトアルヘシ
 前項ノ官吏本吏店代理店又ハ船舶ニ臨檢スルトキハ
 其質問ニ應ジ業務上一切ノ事項ヲ附申シ帳簿ヲ検閲
 ニ供スヘシ
 第二十五條 逋信大臣ハ本命令書有教期限内申左ノ割合
 ヲ以テ航行補助金ヲ支給スヘシ

一 上海蘇州線 年額金壹萬七千六百七拾圓參拾九錢
 一 上海杭州線 年額金壹萬貳千壹百六拾壹錢
 前項ノ補助金ハ一箇月毎ニ終了レタル航行ニ對シ年
 額十二分ノ一ヲ支給スヘシ但第一條ニ規定スル航行
 度數ヲ減シタルトキハ上海蘇州線ニ在テハ一回ニ付
 年額三百分ノ一ヲ又上海杭州線ニ在テハ一回ニ付年
 額百二十分ノ一ヲ減スヘシ
 第三條ノ船舶ヲ以テ第一條ニ記載スル各地間ヲ完全
 ニ航行セズ依テ航行度數ヲ減縮レタルトキハ左ノ割
 合ヲ以テ補助金ヲ減スヘシ
 一 上海蘇州線 一海里ニ付 金四拾五錢
 二 上海杭州線 一海里ニ付 金四拾五錢
 第三條ノ船舶ヲ以テ第一條ニ記載スル各地以外ニ航

行シ航行里数ノ増加スルコトアルモ之ニ対シ補助金ヲ支給セズ

第二十六條 其会社ハ本命令書ノ各線路ニ於ケル業務ノ実況ヲ調査シ線路毎ニ収支ノ計算ヲ整理シ一年ニ一回逓信大臣ニ具申ス

第二十七條 其会社ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケスレテ本命令書ニ規定スル業務ヲ他人ニ譲渡シ若シハ下請負ヲ為サレテ又ハ第三條ノ船舶ヲ賣渡賃渡交換贈與質入書入スルコトヲ得ス

第二十八條 其会社ニ於テ第三條ニ定ムル航行ヲ欲キタルトキ若シハ同条ニ定ムル船舶ヲ使用セサルトキハ第三條ニ定ムル船舶ヲ以テ同條ニ定ムル航行ヲ為ス迄ノ間逓信大臣ハ一日ニ付松円以上百円以下ノ違

約金ヲ徴収ス

其会社ニ於テ第四條ニ依リ修繕又ハ補充ヲ命セラルケル場合ニ其命令期限中修繕若シハ補充ヲ為サレトキハ逓信大臣ハ遅滞日数一日ニ付松円以上百円以下ノ違約金ヲ徴収ス

第二十九條 発着日時表ニ掲タル発着日時ヲ繰上ケ又ハ発着日時ヲ遅延シタルトキハ天災其他抗拒ス一カヲサレテ又ハ命令ニ基因シタル場合ノ外其繰上ケ又ハ遅滞時間毎十二時間未満ニ付五円以上五拾円以下ノ違約金ヲ徴収ス

第三十條 郵便物船積陸揚ノ命令ニ違反シタルトキハ一回毎ニ五円以上五拾円以下ノ違約金ヲ徴収ス一カ但天災其他抗拒ス一カヲサレテ場合ハ此ノ限ニ

アラス

第三十一條 其会社ニ於テ通信大臣ノ認可ヲ受ケス正當ノ事由ナクシテ第三條ノ船舶ヲ以テ第三條ニ記載シタル各地以外ニ航行シタルトキハ一回毎ニ五拾円以内ノ違約金ヲ徴収スヘシ若シ第三條ニ記載シタル各地以外ニ航行シタル為メ第三十八條第一項又ハ第三十九條ニ該當スルニ至リタルトキハ該各條ノ違約金ヲ保セ徴収スヘシ

第三十二條 本命令書ニ於テ特ニ違約金ヲ付シタル場合ノ外各條ノ義務ヲ履行セサルトキハ一回ニ付五拾円以内ノ違約金ヲ徴収スヘシ

第三十三條 第三十八條乃至第三十二條ノ違約金及第三十八條及第三十二條ニ依リ会社ノ支辨スヘキ金額ハ

毎回支終スル航行補助金又ハ保証金ヨリ差引若シ不足アルトキハ其会社ヨリ徴収スヘシ

第三十四條 其会社ニ於テ第三十七條ニ違背シ若シハ同一線路ニ於テ天災遭難其他抗拒スヘカニサレ強制ノ場合ヲ除キ一箇年十五回以上航行ヲ停止シタルト

キハ本命令書ヲ取消シ已ニ執行シタル航行ニ對スル外第三十五條ニ掲グル航行補助金ノ交付ヲ停止シ且保証金ヲ没収スヘシ

第三十五條 第三條ノ航行回数ノ半數以上第三十八條乃至第三十二條ノ可為アリタルトキ亦前項ノ處分ヲ為スコトアルヘシ

第三十五條 其会社ハ本命令書ニ定ムル義務履行ノ保証トシテ各線路毎ニ左ノ割合ニ依リ通債又ハ政府ノ

公債証書ヲ以テ保証金ヲ提出スヘシ

一 上海蘇州線 金壹千八百円

二 上海杭州線 金壹千貳百円

前項ノ保証金ヲ三十三條ニ依リ減額シタルトキハ一箇月以内ニ於テ之ヲ補充スヘシ

前項ノ保証金ハ本券金書期限経過ノトキニ至リ本券金書ノ規定ニ依リ差引シタル金額ヲ除キ其金社ニ還付スヘシ

第三十六條 本券金書ノ有効期限ハ明治三十一年九月一日ヨリ明治三十六年六月三十日まで四箇年十箇月間トス

附則

第三十七條 其會社ハ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十

一年十二月三十一日迄第三條ニ定ムル屯數以下ノ被服船ヲ使用スルコトヲ得

第三十八條 其會社ハ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十二年六月三十日迄第三條ニ定ムル汽船壹隻被服船壹隻ヲ減スルコトヲ得

第三十九條 其會社ハ特ニ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十二年十二月三十一日迄ヲ限リ第四條第二項ノ條件ヲ有署シ又ハ外國船ヲ使用スルコトヲ得

前項ニ依リ條件ヲ有署シタル場合ニ於テハ該期間内ニ支給スル航行補助金ハ第三十五條第一項ニ定ムル割合ニ從ヒ其期ノ支給金額ヨリ上海蘇州線ニ在ラハ百圓ノ七上海杭州線ニ在ラハ百圓ノ十二ヲ減スヘシ

明治三十一年七月九日

逋信大臣 林有造

州十四日 主普通局



文部省

新語之辨り

母語之辨り

りて之を以て

るべし

ナリ

通事

部

文部省

通省

0269

3-2060

三十二年十月七日 記録課長

明治三十二年十月四日 日越草相原
同 年 八月七日 日發達

主任

40

通商局長



外務省
通商局長

上海總領事 曹克

在任 曹克

曹克

各別冊命合書

曹克

曹克

上海蘆州線及上海杭州線兩航路定期航

外務省

海關大東洋航合資会社(別冊)寫之通

命令書下付相成(種名)航路局長より通知有

之各条(別冊)送付也

(命令書)部(送付)